

● A農場周辺

項目	採水年月日		R3.4.23 (第1回)		R3.4.30 (第2回)		R3.5.7 (第3回)		R3.5.14 (第4回)		R3.5.20 (第5回) ※1		R3.5.27 (第6回)	
	上流側	下流側	上流側 (欠測)	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	農場内	下流側2	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性	-	陰性	陰性	陰性	陰性							
一般細菌	3個/mL	2個/mL	-	1個/mL	1個/mL	0個/mL	1個/mL	0個/mL	1個/mL	0個/mL	2個/mL	3個/mL	4個/mL	5個/mL
大腸菌	不検出	不検出	-	不検出	不検出	不検出	不検出							
塩化物イオン	8mg/L	8mg/L	-	8mg/L	7mg/L	7mg/L	9mg/L	8mg/L	7mg/L	7mg/L	6mg/L	7mg/L	6mg/L	7mg/L
陰イオン界面活性剤	<0.02mg/L	<0.02mg/L	-	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L							
非イオン界面活性剤	<0.005mg/L	<0.005mg/L	-	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L							
有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0.1mg/L	0.2mg/L	-	<0.1mg/L	<0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L
味	異常なし	異常なし	-	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし							
臭気	異常なし	異常なし	-	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし							
色度	<1度	<1度	-	<1度	<1度	<1度	<1度							
濁度	<1度	<1度	-	<1度	<1度	<1度	<1度							
水素イオン濃度 (pH)	6.8	7.3	-	7.2	6.9	7.3	7.1	7.0	7.3	6.6	6.8	6.5	6.5	6.5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	<0.5mg/L	<0.5mg/L	-	0.8mg/L	0.6mg/L	0.5mg/L	1.0mg/L	0.9mg/L	1.2mg/L	0.9mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L
化学的酸素要求量 (COD)	0.8mg/L	0.5mg/L	-	0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L						
糞便性大腸菌群数	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	-	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL							
電気伝導率	23mS/m	24mS/m	-	24mS/m	23mS/m	23mS/m	24mS/m	24mS/m	22mS/m	22mS/m	21mS/m	22mS/m	21mS/m	22mS/m
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	4.7mg/L	4.4mg/L	-	4.4mg/L	4.3mg/L	4.0mg/L	5.0mg/L	4.1mg/L	3.2mg/L	4.2mg/L	3.1mg/L	4.0mg/L	3.1mg/L	4.0mg/L
アンモニア性窒素	<0.05mg/L	<0.05mg/L	-	<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L							

※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。

※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。

※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。

※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。

※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。

● A農場周辺

項目	採水年月日		R3.6.3 (第7回)		R3.6.10 (第8回)		R3.6.17 (第9回)		R3.7.13 (第10回)		R3.7.21 (第11回)		R3.7.29 (第12回)	
	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性								
一般細菌	7個/mL	6個/mL	4個/mL	9個/mL	6個/mL	28個/mL	8個/mL	190個/mL	6個/mL	11個/mL	14個/mL	6個/mL	6個/mL	
大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
塩化物イオン	7mg/L	7mg/L	7mg/L	7mg/L	7mg/L									
陰イオン界面活性剤	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L									
非イオン界面活性剤	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L									
有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし									
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし									
色度	<1度	<1度	<1度	<1度	<1度									
濁度	<1度	<1度	<1度	<1度	<1度									
水素イオン濃度 (pH)	6.8	6.6	6.9	6.6	6.9	6.6	7.0	6.5	6.7	6.5	6.8	6.5		
生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.6mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	0.6mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L		
化学的酸素要求量 (COD)	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L										
糞便性大腸菌群数	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL										
電気伝導率	21mS/m	22mS/m	21mS/m	22mS/m	22mS/m	21mS/m	21mS/m	20mS/m	21mS/m	20mS/m	22mS/m	20mS/m		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.2mg/L	4.4mg/L	2.6mg/L	4.2mg/L	3.1mg/L	3.8mg/L	3.2mg/L	3.8mg/L	3.3mg/L	3.7mg/L	3.3mg/L	3.5mg/L		
アンモニア性窒素	<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L										

- ※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。
 ※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。
 ※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。
 ※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。
 ※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。

● A農場周辺

項目	R3. 8. 3 (第13回)		R3. 8. 10 (第14回)		R3. 8. 17 (第15回)		R3. 8. 25 (第16回)		R3. 8. 31 (第17回)		R3. 9. 8 (第18回)	
	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2※2	農場内	下流側2※2	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性		陰性		陰性	陰性
一般細菌	40個/mL	21個/mL	5700個/mL	8個/mL	480個/mL	18個/mL	48個/mL		34個/mL		23個/mL	1個/mL
大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		不検出		不検出	不検出
塩化物イオン	7 mg/L	7 mg/L	7 mg/L	7 mg/L	7 mg/L	6 mg/L	7 mg/L		7 mg/L		7 mg/L	8 mg/L
陰イオン界面活性剤	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L		< 0.02mg/L		< 0.02mg/L	< 0.02mg/L
非イオン界面活性剤	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L		< 0.005mg/L		< 0.005mg/L	< 0.005mg/L
有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L		0.1mg/L		0.1mg/L	0.2mg/L
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		異常なし		異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		異常なし		異常なし	異常なし
色度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度		< 1度		< 1度	< 1度
濁度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度		< 1度		< 1度	< 1度
水素イオン濃度 (pH)	6.8	6.6	6.9	6.5	6.9	6.4	6.7		6.8		6.9	6.6
生物学的酸素要求量 (BOD)	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L		< 0.5mg/L		< 0.5mg/L	< 0.5mg/L
化学的酸素要求量 (COD)	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	0.8mg/L		< 0.5mg/L		< 0.5mg/L	< 0.5mg/L
糞便性大腸菌群数	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL		< 1.8MPN/100mL		< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL
電気伝導率	21mS/m	20mS/m	20mS/m	18mS/m	21mS/m	18mS/m	21mS/m		20mS/m		21mS/m	18mS/m
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.3mg/L	3.6mg/L	3.2mg/L	3.5mg/L	3.2mg/L	3.8mg/L	3.3mg/L		3.3mg/L		3.5mg/L	4.1mg/L
アンモニア性窒素	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L		< 0.05mg/L		< 0.05mg/L	< 0.05mg/L

※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。

※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。

※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。

※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。

※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。

● A農場周辺

項目	R3.10.12 (第19回)		R3.10.19 (第20回)		R3.10.26、28 (第21回) ※3		R3.11.2 (第22回)		R3.11.10 (第23回)		R3.12.14 (第24回)	
	農場内	下流側2	農場内	下流側2※2	農場内	下流側2※2	農場内	下流側2※2	農場内	下流側2	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性	陰性		陰性		陰性		陰性	陰性	陰性	陰性
一般細菌	1500個/mL	6個/mL	2500個/mL		17個/mL		7個/mL		3個/mL	0個/mL	7個/mL	0個/mL
大腸菌	不検出	不検出	不検出		不検出		不検出		不検出	不検出	不検出	不検出
塩化物イオン	8 mg/L	9 mg/L	7 mg/L		7 mg/L		8 mg/L		7 mg/L	9 mg/L	7 mg/L	9 mg/L
陰イオン界面活性剤	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L		<0.02mg/L		<0.02mg/L		<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L	<0.02mg/L
非イオン界面活性剤	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L		<0.005mg/L		<0.005mg/L		<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L	<0.005mg/L
有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0.1mg/L	0.2mg/L	<0.1mg/L		0.1mg/L		0.1mg/L		0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L
味	異常なし	異常なし	異常なし		異常なし		異常なし		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし	異常なし		異常なし		異常なし		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	<1度	<1度	<1度		<1度		<1度		<1度	<1度	<1度	<1度
濁度	<1度	<1度	<1度		<1度		<1度		<1度	<1度	<1度	<1度
水素イオン濃度 (pH)	6.7	6.4	6.9		6.8		6.7		6.9	6.5	7.0	6.7
生物学的酸素要求量 (BOD)	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L		<0.5mg/L		<0.5mg/L		<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L
化学的酸素要求量 (COD)	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L		<0.5mg/L		<0.5mg/L		<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L	<0.5mg/L
糞便性大腸菌群数	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL		<1.8MPN/100mL		<1.8MPN/100mL		<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL	<1.8MPN/100mL
電気伝導率	21mS/m	21mS/m	23mS/m		22mS/m		23mS/m		22mS/m	24mS/m	22mS/m	23mS/m
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.8mg/L	4.5mg/L	3.5mg/L		3.7mg/L		4.1mg/L		3.6mg/L	4.7mg/L	3.5mg/L	5.0mg/L
アンモニア性窒素	<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L		<0.05mg/L		<0.05mg/L		<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L	<0.05mg/L

※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。

※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。

※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。

※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。

※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。

● A農場周辺

項目	R4. 1. 18 (第25回)		R4. 2. 8 (第26回)		R4. 3. 15 (第27回)		R4. 4. 12 (第28回)		R4. 6. 21 (第29回) ※4		R4. 8. 23 (第30回)	
	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
一般細菌	65個/mL	0個/mL	40個/mL	3個/mL	16個/mL	0個/mL	6個/mL	0個/mL	2個/mL	0個/mL	0個/mL	1個/mL
大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
塩化物イオン	7 mg/L	9 mg/L	7 mg/L	9 mg/L	8 mg/L	10mg/L	8 mg/L	10mg/L	7 mg/L	7 mg/L	8 mg/L	8 mg/L
陰イオン界面活性剤	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L
非イオン界面活性剤	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L
有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0.2mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	< 0.1mg/L	0.1mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L	0.1mg/L	0.2mg/L
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度
濁度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度	< 1度
水素イオン濃度 (pH)	6.9	6.6	6.9	6.6	6.8	6.5	7.0	6.6	6.7	6.4	6.9	6.4
生物化学的酸素要求量 (BOD)	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L
化学的酸素要求量 (COD)	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L
糞便性大腸菌群数	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL
電気伝導率	22mS/m	24mS/m	22mS/m	24mS/m	24mS/m	25mS/m	23mS/m	25mS/m	20mS/m	21mS/m	22mS/m	21mS/m
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.8mg/L	5.3mg/L	3.6mg/L	5.2mg/L	3.8mg/L	5.4mg/L	3.6mg/L	5.5mg/L	3.3mg/L	4.0mg/L	3.3mg/L	3.8mg/L
アンモニア性窒素	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L

※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。

※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。

※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。

※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。

※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。

● A農場周辺

項目	採水年月日		R4. 10. 18 (第31回)		R4. 12. 13 (第32回)		R5. 2. 21 (第33回)		R5. 5. 23 (第34回)		R5. 8. 22 (第35回)		R5. 11. 21 (第36回)	
	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
一般細菌	5 個/mL	2 個/mL	0 個/mL	1 個/mL	0 個/mL	1 個/mL	4 4 個/mL	1 個/mL	0 個/mL	1 2 個/mL	2 個/mL	1 個/mL		
大腸菌	陽性	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	陽性	不検出	不検出	陽性	不検出	不検出	不検出	不検出
塩化物イオン	8 mg/L	9 mg/L	8 mg/L	9 mg/L	7 mg/L	9 mg/L	7 mg/L	8 mg/L	7 mg/L	7 mg/L	8 mg/L	9 mg/L		
陰イオン界面活性剤	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L	< 0. 02mg/L
非イオン界面活性剤	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L	< 0. 005mg/L
有機物 (全有機炭素 (TOC) の量)	0. 1mg/L	0. 2mg/L	0. 1mg/L	0. 2mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L	0. 1mg/L
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度
濁度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度	< 1 度
水素イオン濃度 (pH)	6. 9	6. 4	6. 7	6. 4	6. 9	6. 6	6. 8	6. 7	6. 6	6. 7	6. 7	6. 4		
生物化学的酸素要求量 (BOD)	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L
化学的酸素要求量 (COD)	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L	< 0. 5mg/L
糞便性大腸菌群数	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	2. 0MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL	< 1. 8MPN/100mL
電気伝導率	23mS/m	23mS/m	22mS/m	25mS/m	22mS/m	26mS/m	22mS/m	24mS/m	21mS/m	21mS/m	23mS/m	23mS/m		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3. 5mg/L	4. 5mg/L	3. 8mg/L	5. 0mg/L	3. 7mg/L	5. 3mg/L	3. 2mg/L	4. 4mg/L	2. 9mg/L	3. 5mg/L	3. 5mg/L	4. 3mg/L		
アンモニア性窒素	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L	< 0. 05mg/L

※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。

※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。

※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。

※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。

※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。

● A農場周辺

項目	採水年月日	
	R6.2.20 (第37回)	
	農場内	下流側2
豚熱ウイルス	陰性	陰性
一般細菌	0 個/mL	5 個/mL
大腸菌	不検出	不検出
塩化物イオン	7 mg/L	9 mg/L
陰イオン界面活性剤	< 0.02mg/L	< 0.02mg/L
非イオン界面活性剤	< 0.005mg/L	< 0.005mg/L
有機物 (全有機炭素 (TOC) の量)	< 0.1mg/L	0.1mg/L
味	異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし
色度	< 1 度	< 1 度
濁度	< 1 度	1 度
水素イオン濃度 (pH)	6.7	6.5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L
化学的酸素要求量 (COD)	< 0.5mg/L	< 0.5mg/L
糞便性大腸菌群数	< 1.8MPN/100mL	< 1.8MPN/100mL
電気伝導率	23mS/m	25mS/m
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.3mg/L	4.8mg/L
アンモニア性窒素	< 0.05mg/L	< 0.05mg/L

- ※ 一般細菌、大腸菌、糞便性大腸菌群数等は元々自然界にも存在し、埋却の影響に関わらず検出されることがある。
- ※1 調査地点を変更し、農場内と下流側2での調査を開始した。
- ※2 結果に大きな変動がなかったため、調査頻度を月1回とした。
- ※3 地下水の貯水タンク内で一般細菌が増加した可能性が考えられたため、令和3(2021)年10月28日に一般細菌のみ再調査した。
- ※4 A農場内井戸は塩素の添加を開始したため、第29回調査からは塩素添加後の地下水を分析した結果である。